



2024年6月24日

<各位>

NANO MRNA 株式会社  
代表取締役社長 秋永 士朗  
(4571 東証グロース)  
問合せ先 IR担当 土屋 千映子  
電話番号 03-6432-4793

第28回日本がん分子治療標的学会  
PRDM14 (siRNA) の治験に関する臨床成績発表

2024年6月19日～21日開催の第28回日本がん分子標的治療学会において、当社パイプライン PRDM14 siRNA に関する医師主導治験の臨床成績が発表されましたので、その概略についてご案内申し上げます。

【発表概要】

「PRDM14 分子を標的とする革新的 siRNA 医薬による難治性乳がんの治療法開発」

高橋俊二医師（公益財団法人がん研究会有明病院 総合腫瘍科）

- HER2 陰性転移性乳がん患者 10 例に PRDM14 siRNA/YBC ポリマー複合体が投与され、重篤な副作用は確認されず安全性に大きな問題はなかった。
- 抗腫瘍効果は 10 例中 6PD、4SD であり、最高用量の 1 例で長期 SD が見られ、無増悪生存期間は 25-180 日(中央値 45 日)であった。
- 薬物動態については、PRDM14 siRNA/YBC ポリマー複合体投与の投与量の増加に伴う PRDM14 siRNA 曝露の増加が確認され、最高用量では非臨床成績から外挿される有効血漿中濃度に到達しており、オリゴ核酸医薬の薬物送達システムとしての YBC ポリマーの臨床における有用性が示された。

なお、本治験で使用された薬物送達システム YBC ポリマーは、現在膠芽腫を対象に医師主導治験実施中の「TUG1 ASO」にも使用されており、今回の結果を踏まえると、同様に、薬物の十分な曝露が期待されます。

以上